

姫路市ではどんな取組をしているの？

本市では、令和5年3月「姫路市男女共同参画プラン2027」を策定しました（計画期間：令和5年度～令和9年度）。このプランに基づき、男女が対等に社会参加や参画をし、役割や責任を共に担って暮らせるまち・姫路を築いていくため、関係機関をはじめ広く市民の皆さんと一体となって一層の取組を進めていきます。

基本目標



重点的に推進すべき課題

- あらゆる分野への女性の参画拡大
- 家庭・地域活動への男性参画を可能にする働き方促進
- 生活のセーフティネットの充実
- 多様な生き方を尊重する意識の世代間共有
- 男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進

“あいめっせ”でお待ちしています

姫路城の南に面した「イーグレひめじ」3階にある“あいめっせ”では、男女共同参画社会について学ぶための講座の開催や、男女共同参画についての図書の貸し出しをしています。男女共同参画について、“あいめっせ”で一緒に学んでみませんか。



“あいめっせ”は、姫路市男女共同参画推進センターの愛称で、「I message(アイメッセージ=私はこう思う)」と「愛あるメッセージ」の意味を込めています。

情報収集・提供	図書情報コーナーで、男女共同参画に関する図書・DVD・資料等の収集や提供を行っています	学習啓発	男女共同参画に関する啓発講演会や、講座・セミナーを開催しています
交流促進	男女共同参画社会の実現を目指す市民グループへの活動の場や情報を提供しています	相談	女性のための相談やチャレンジ相談(再就職・起業など)、男性のための電話相談を実施しています

発行

姫路市男女共同参画推進課 発行年月：令和6年(2024年)3月
〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階
(姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”内)
TEL:079-287-0803 FAX:079-287-0805



Gender Equality For Everyone!

みんなの男女共同参画

すべての個人が、互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会を「男女共同参画社会」といいます。

あなたは「男女共同参画」という言葉を聞いて、このように感じていませんか？
「何か堅苦しそう」「女性だけのためのものでは？」

男女共同参画は、性別にかかわらず、みんなにかかわることです。だれもが「男らしさ／女らしさ」に縛られずに生きていけるよう、「みんなの男女共同参画」について、

一緒に考えてみませんか？

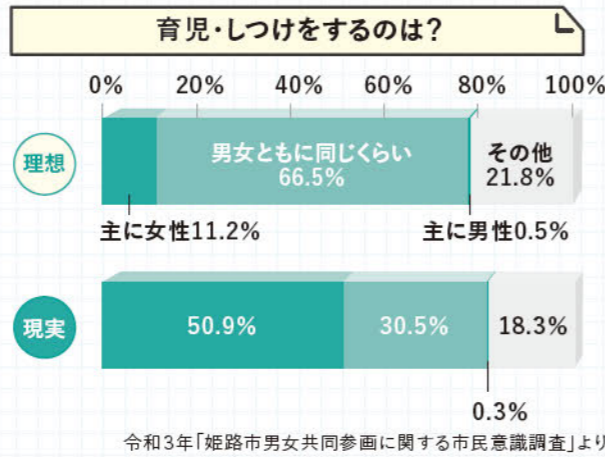
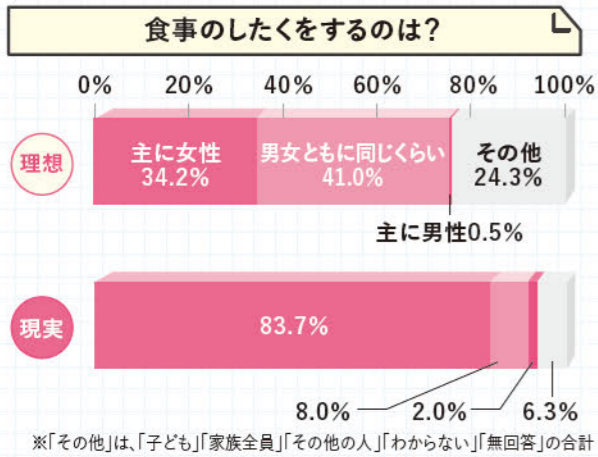
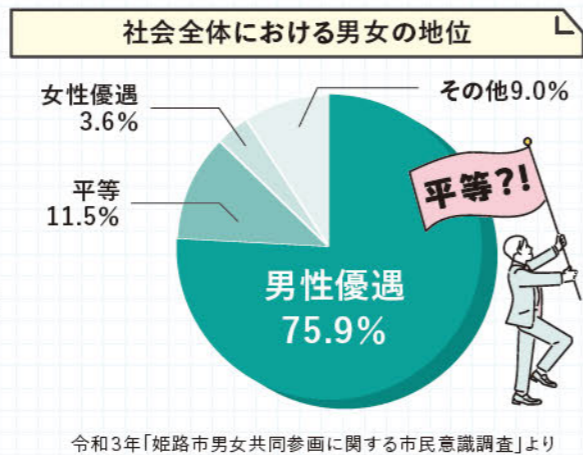
そして、一人ひとりができることを見つけてみませんか？



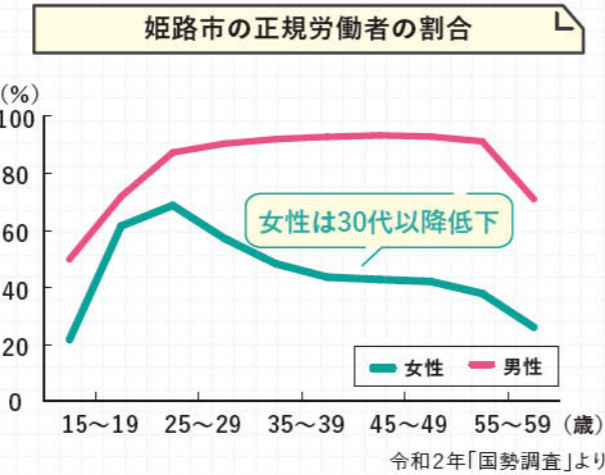
今の社会は男女平等？

皆さんの中には、「すでに男女平等なのでは？」と感じている方もいるかもしれません。しかし、令和3年市民意識調査によると、社会全体で「男性優遇」と感じる割合は75.9%と高くなっています。

なぜ、そう感じる人が多いのでしょうか。その背景について、身近な例として家庭内の仕事の負担で見てみましょう。理想では「男女ともに同じくらい」担うこととする割合が高いものの、「主に女性」との考えも根強くあり、現実では女性に偏っていることがわかります。



女性に家事負担が偏っているということは、「男は仕事、女は家庭」という考えが依然として残っていることを示しています。また、姫路市の正規労働者の割合に注目すると、男性が女性より高く、女性は結婚・出産の時期が集中する30代以降から大きく低下しています。このように、現在でも性別による制約を受けている人が少なくないことから、男女平等と言えるまでは道半ばであることがわかります。



TOPIX 1 固定的な性別役割分担意識

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等のように、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける考え方のことです。



TOPIX 2 アンコンシャス・バイアス

誰もが潜在的に持っている思い込みのことです。育つ環境・所属する集団の中で無意識のうちに脳にきざみこまれ、既定概念、固定観念となっていきます。そして、自分自身は気づいていない中で、何気ない発言や行動として現れることで、私たちの日常に広く影響を及ぼします。



男女共同参画が実現した社会は、どんな社会？

一人ひとりの人権・個性・能力を大切にできる社会

リーダーや補佐役などの役割分担について、「男性がすべき」、「女性に向いている」と性別で決めつけず、個人個人の個性・能力を発揮することを大切にできる社会です。

自分の生き方を自分で選べる社会 相手の生き方を尊重する社会

「男性は一家の大黒柱」、「女性は良妻賢母」と自分や相手の生き方を型にはめたり、「型にはまっていない」と批判したりせず、それぞれの生き方を尊重する社会です。

一人ひとりが対等に責任を担う社会

一部の男性だけがルールや仕組みを作るのではなく、女性も社会の一員として関わり、能力を十分に発揮し、責任を担う社会です。

男女共同参画意識を共有する社会

固定的な性別役割分担意識による「当たり前」を押し付けず、自分や相手の「～したい／でありたい」に耳を傾ける意識を世代や性別を超えて共有する社会です。



**「男らしく、女らしく」ではなく
「自分らしく」生きることができる社会を
みんなでつくっていきましょう!**

TOPIX 3 SDGs

地球上の「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すために2015年9月の国連サミットで採択された令和12年(2030年)までの国際目標です。姫路市が男女共同参画社会の実現を目指して策定した「姫路市男女共同参画プラン2027」では、掲げられている17の目標のうち、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」をはじめ、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」「働きがいも経済成長も」「人や国の不平等をなくそう」「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」の8つに配慮しています。



TOPIX 4 ジェンダー平等

ジェンダー(社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」)によって生き方や働き方が決められるのではなく、平等に責任や権利、機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めていくことです。SDGsでは、世界中で法律や制度を変えたり、教育やメディアを通じて意識を高める活動を行ったりすることで、ジェンダーを問い直し、全ての人の人権を尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現を目指しています。

